

「保健医療分野 AI 開発加速コンソーシアム」における 議論の整理の進め方

1. これまでの議論の経緯

- 本コンソーシアムでは、第1回から第3回までは画像診断支援領域におけるAIの分野を例に、開発段階に応じたロードブロックについて議論を行い、1月には「迅速に対応すべき事項」を整理した。
- また、第4回から第6回までは重点6領域を中心にAI開発に関する取り組み状況についてヒアリングを行い、併せて、健康・医療・介護・福祉領域においてAIの活用が期待される分野について議論を行い、**別添1**の俯瞰図(案)を作成した。

2. 議論の整理の進め方

- (1) 「健康・医療・介護・福祉領域において AI の開発・利活用が期待できる分野/領域(案)」(**別添1**)について
 - 今後も様々なAIの開発が進み、AIの利活用が期待される分野も拡大すると考えられることから、本俯瞰図(案)については、適宜アップデートしていくことが必要と考えている。現時点で、分野として大きく欠けているものがあればご指摘いただきたい。
- (2) 各々の「AIの開発・利活用が期待できる分野/領域」における取組について
 - 第4回から第6回まで、重点6領域を中心にAI開発に関するヒアリングを行った際の主なご意見について、開発段階に応じたロードブロックにおける議論の際いただいたご意見との関係を整理すると、**別添2**のとおりである。ここで纏めたご意見については、開発段階に応じたロードブロックの中で、分野横断的に議論を進められる課題と、分野固有の課題とに分けられると考えられる。
 - 重点6領域を中心に、俯瞰図(案)に示された AI の開発・利活用が期待できる分野/領域ごとに、AI開発を促進するために必要な施策や、企業、アカデミア、行政等に期待される役割についてご意見をいただきたい。
- (3) 開発段階に応じたロードブロックについて
 - 画像診断補助AIを例に議論を行い、本年1月に中間整理として取りまとめた「開発段階に応じたロードブロックごとの迅速に対応すべき事項」について、検討を進めている。その検討状況は**別添3**のとおり。
 - 開発段階に応じたロードブロックの解消に向け、2019年度において、画像診断補助AIを引き続きモデルとして、検討を具体的に進めたいと考えており、また、その過程で、中長期的に検討が必要な課題を整理したいと考えている。その検討を進めるに当たり、特に重要と考えられる論点があればご指摘いただきたい。